

平成30年度事故情報収集調査結果について ～事故調査結果からみえる製品事故動向～

製品安全センター リスク評価広報課
柿原 敬子

* 事故情報収集件数等については、2019年9月30日現在での暫定版であり、今後、数値が変わる可能性があります。

概 要

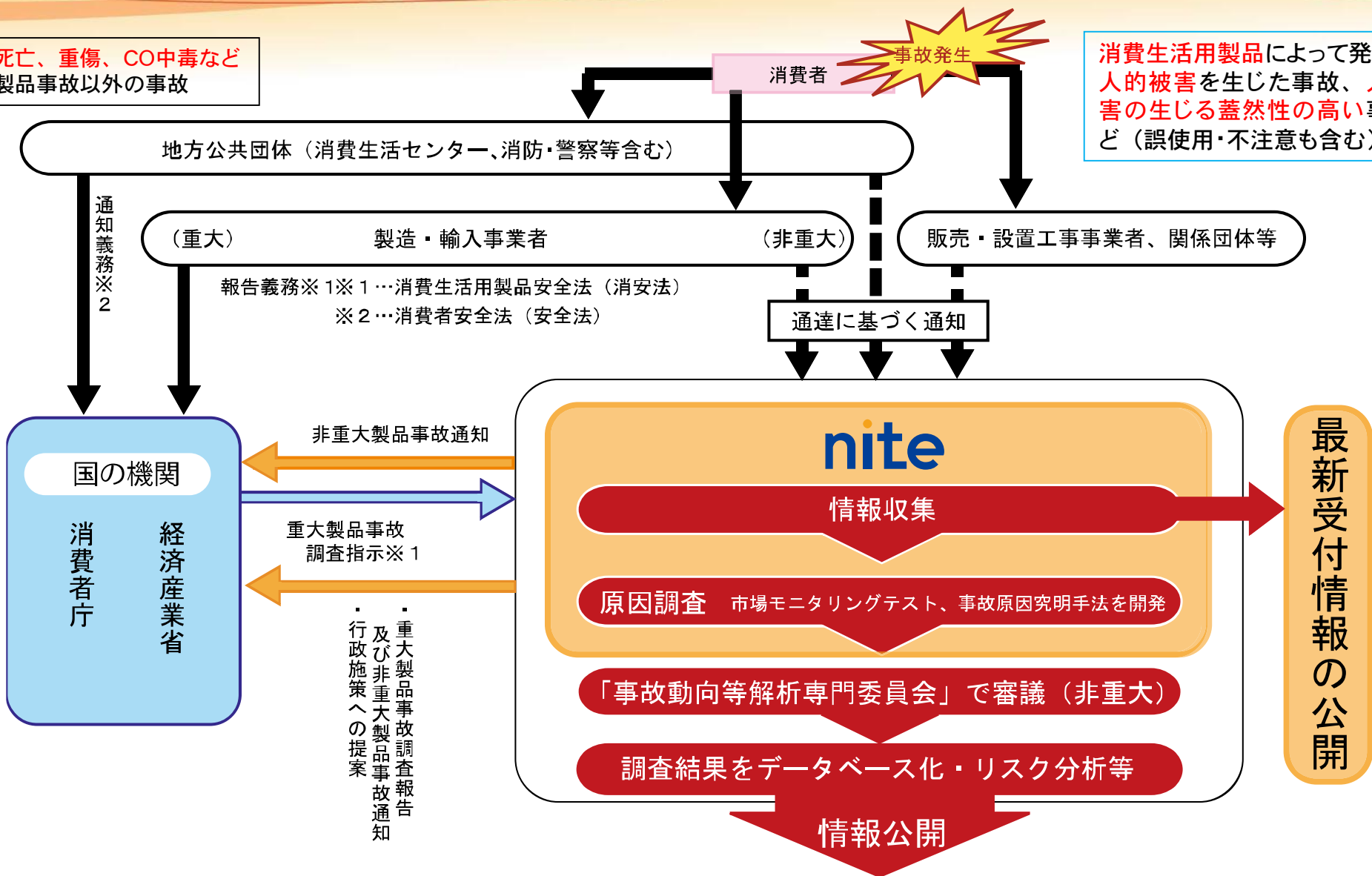
1. 事故情報収集制度概要
2. 平成30年度事故情報収集結果
3. 高齢者の事故動向
4. 消費者への事故防止のための取り組み

1. 事故情報収集制度概要

事故情報収集制度の概要

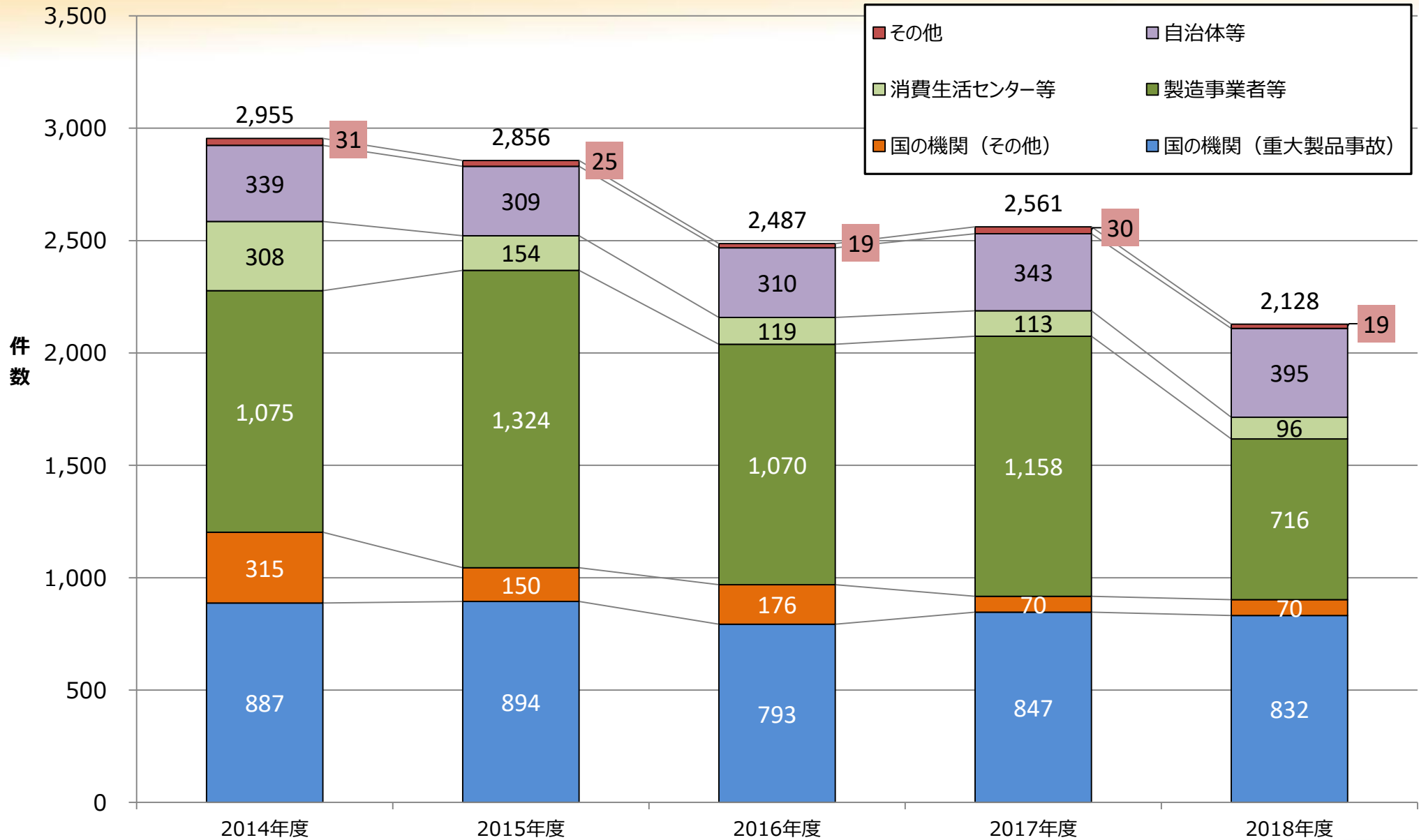
重大製品事故：火災、死亡、重傷、CO中毒など
 非重大製品事故：重大製品事故以外の事故

消費生活用製品によって発生し、
 人的被害を生じた事故、人的被害の生じる蓋然性の高い事故など（誤使用・不注意も含む）

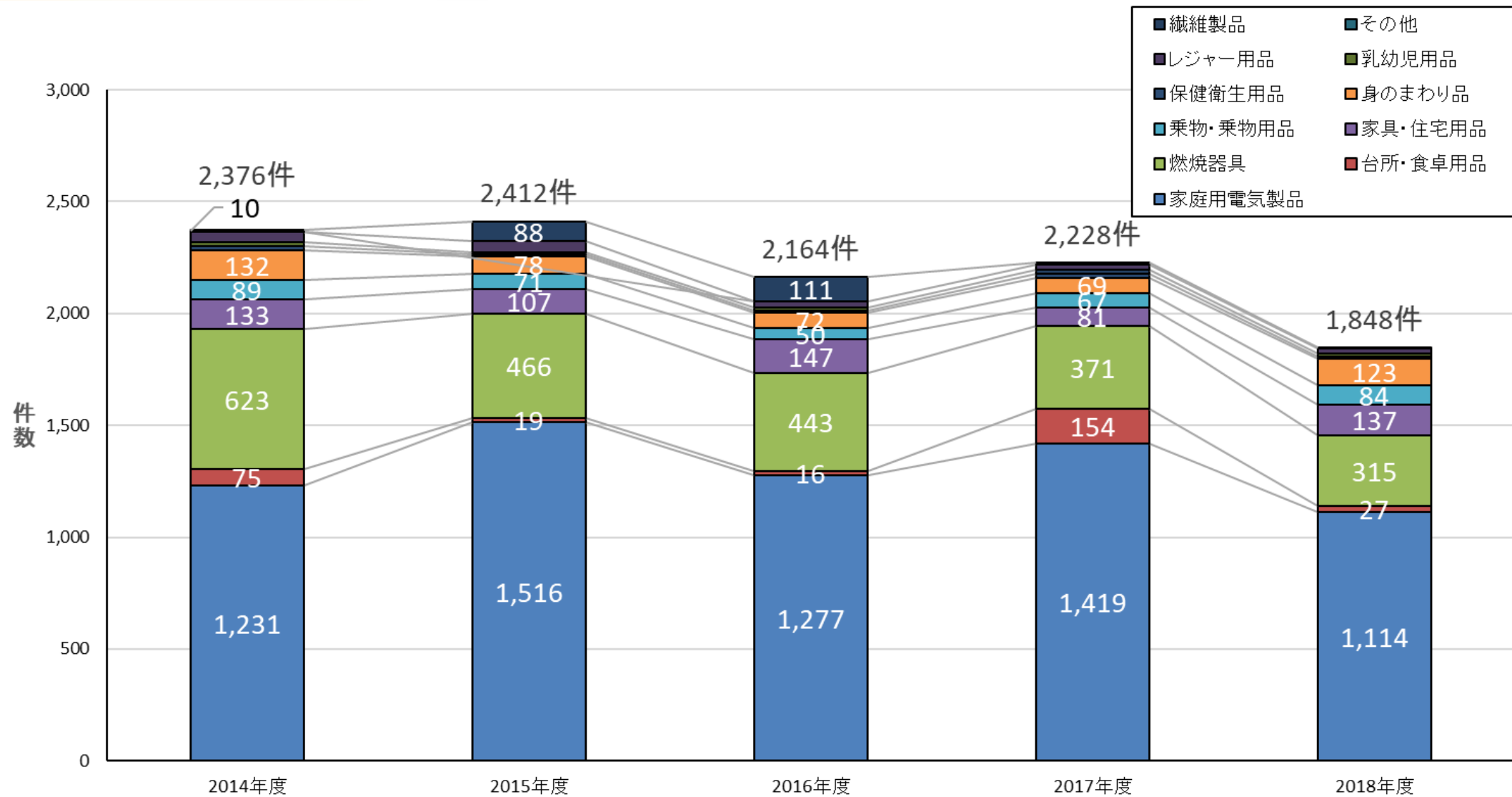


2. 平成30年度事故情報収集結果

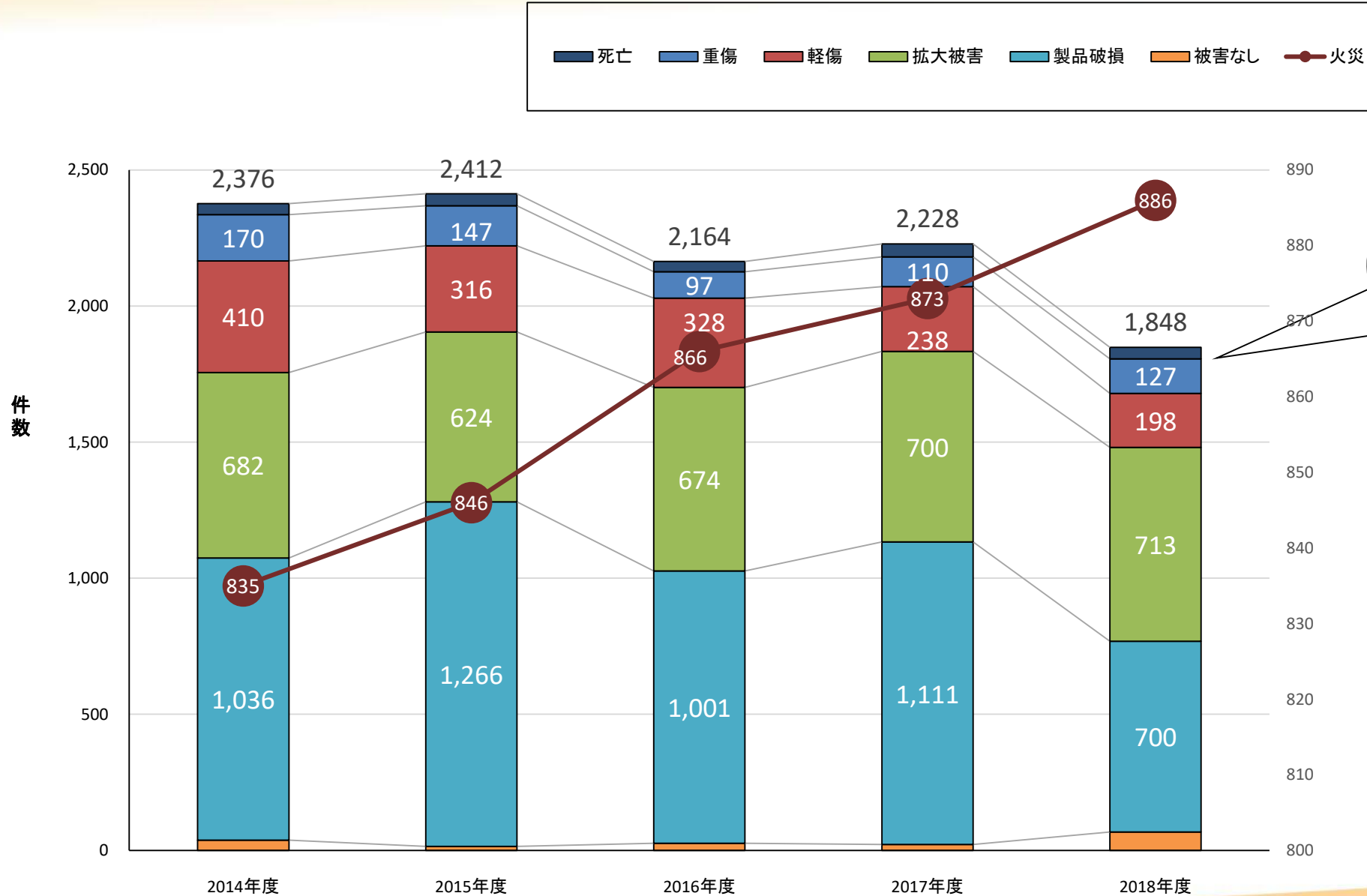
情報源別製品事故収集件数（2014～2018年度）



製品区分別製品事故収集件数（2014～2018年度）



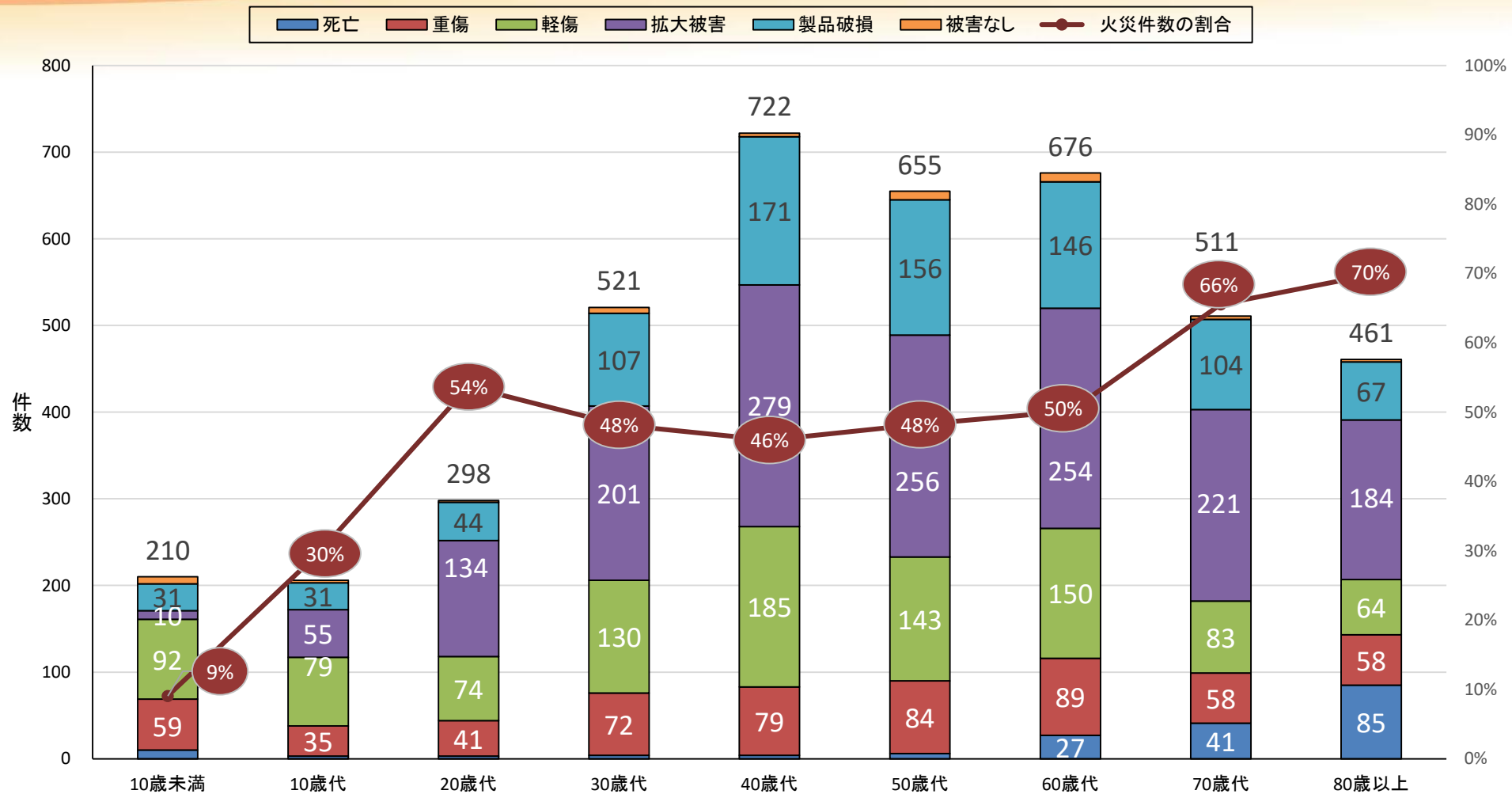
年度別被害状況別製品事故収集件数（2014～2018年度）



死亡、重傷事故の被害者年齢は？

3. 高齢者の事故動向

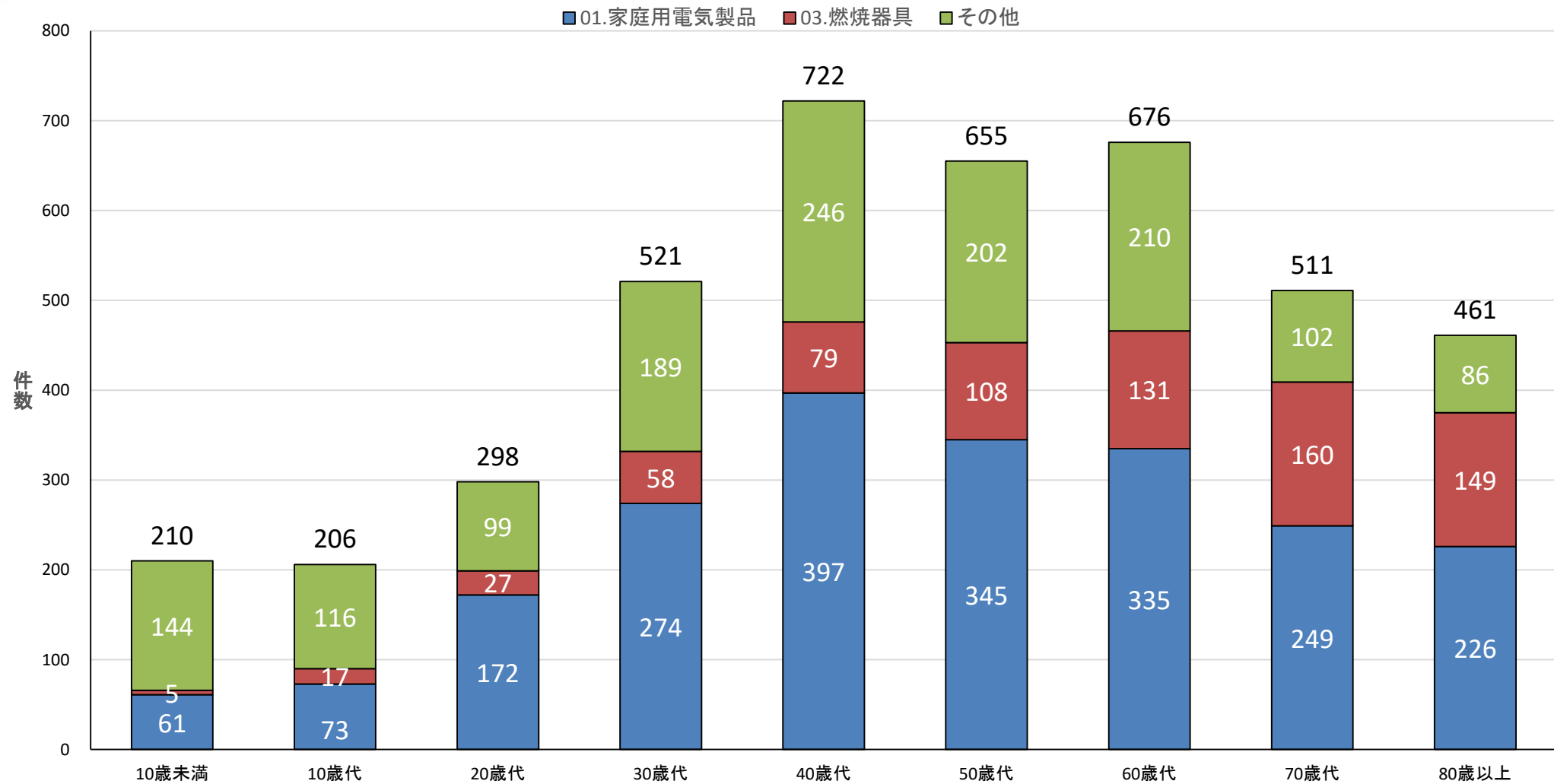
年代別被害状況別製品事故収集件数（2014～2018年度）



総件数に対する年代別構成比	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
	4.9%	4.8%	7.0%	12.2%	16.9%	15.4%	15.9%	12.0%	10.8%

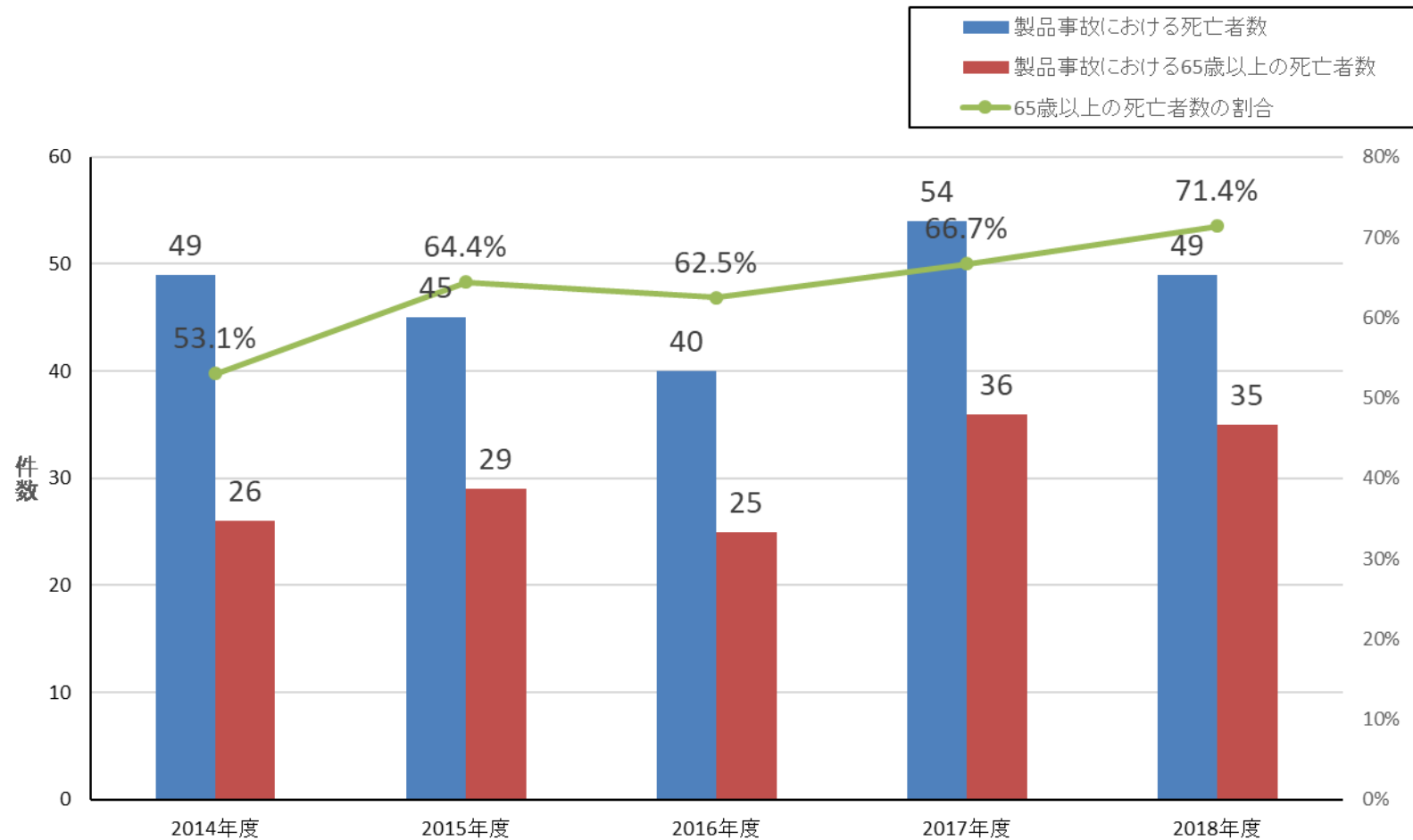
注) 重複情報等を除いた件数。被害者の年齢が判明したものを集計。

年代別製品区分別製品事故収集件数（2014～2018年度）



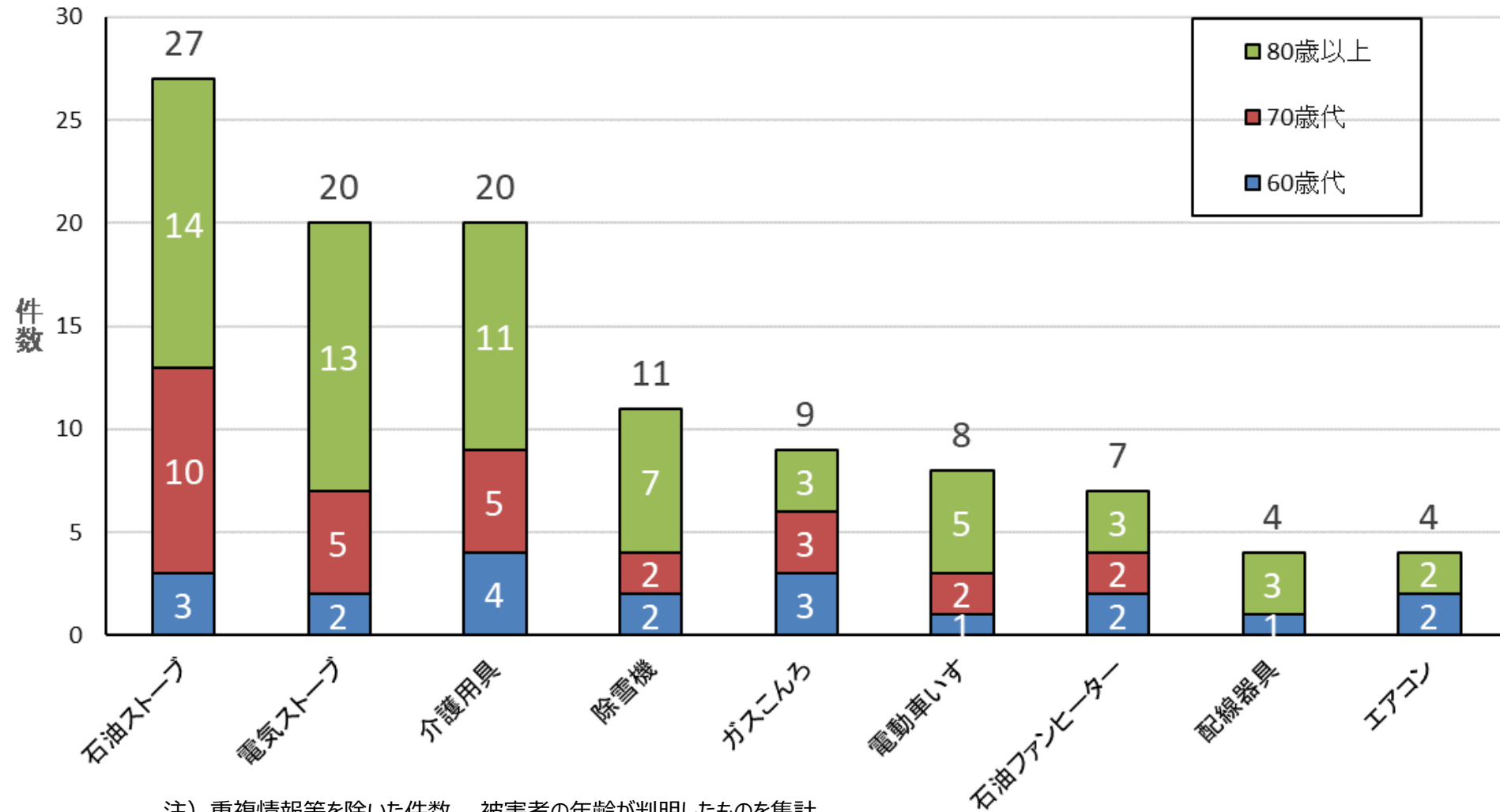
注) 重複情報等を除いた件数。被害者の年齢が判明したものを集計。

製品事故における死亡者数の推移（2014～2018年度）



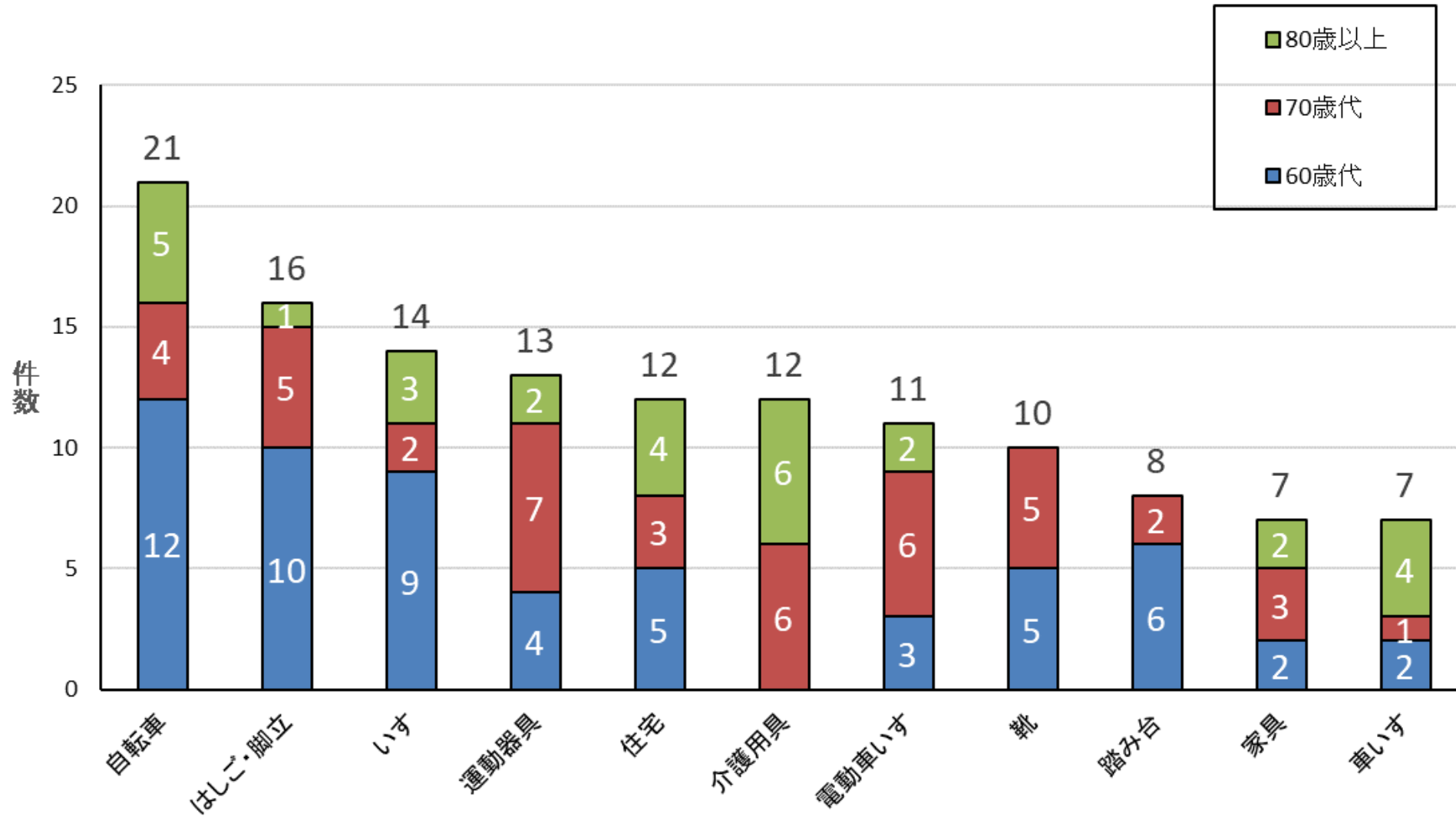
注) 重複情報等を除いた件数。被害者の年齢が判明したものを集計。

高齢者の死亡事故が多い製品(2014～2018年度)



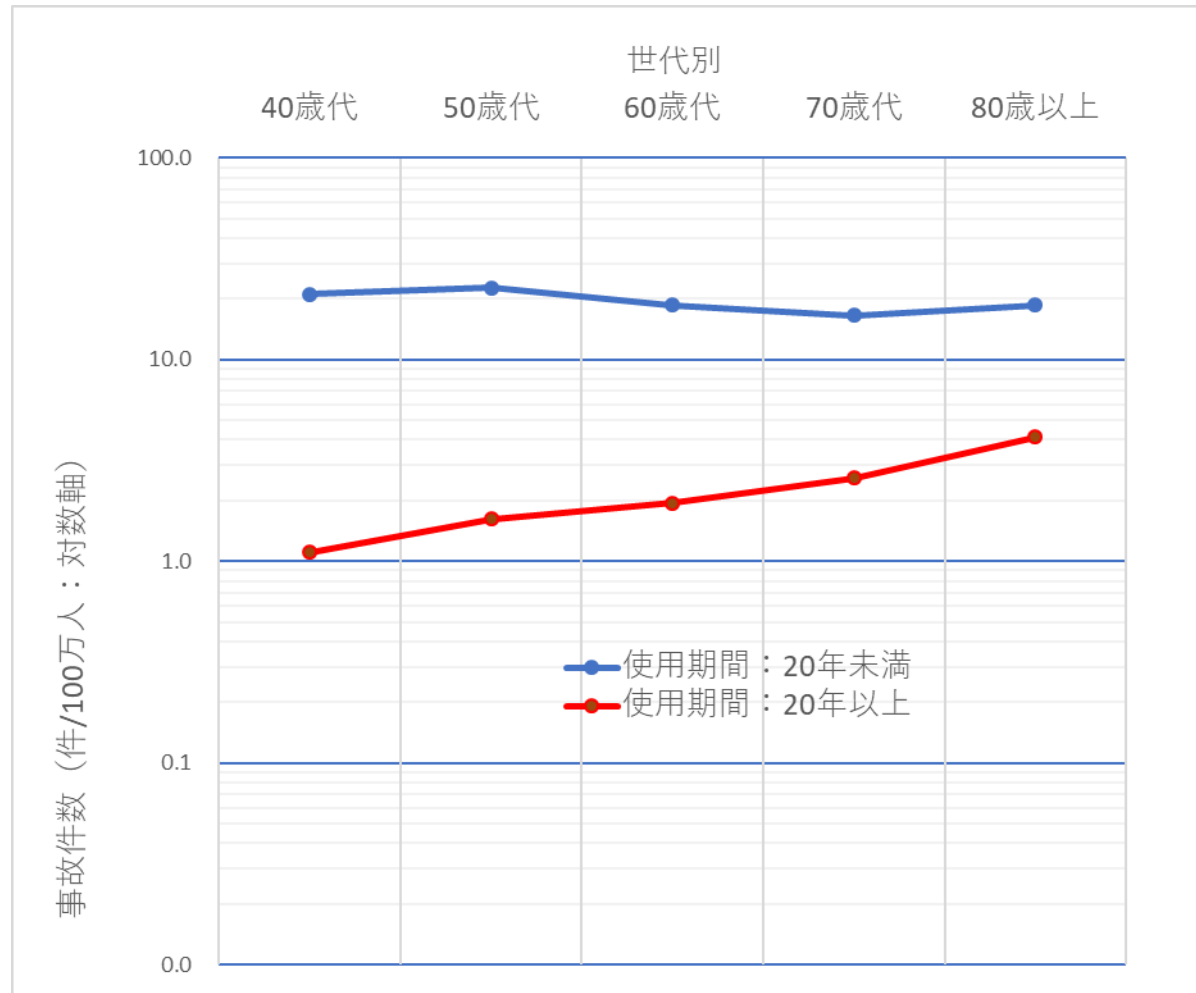
注) 重複情報等を除いた件数。被害者の年齢が判明したものを集計。

高齢者の重傷事故が多い製品(2014~2018年度)



注) 重複情報等を除いた件数。被害者の年齢が判明したものを集計。

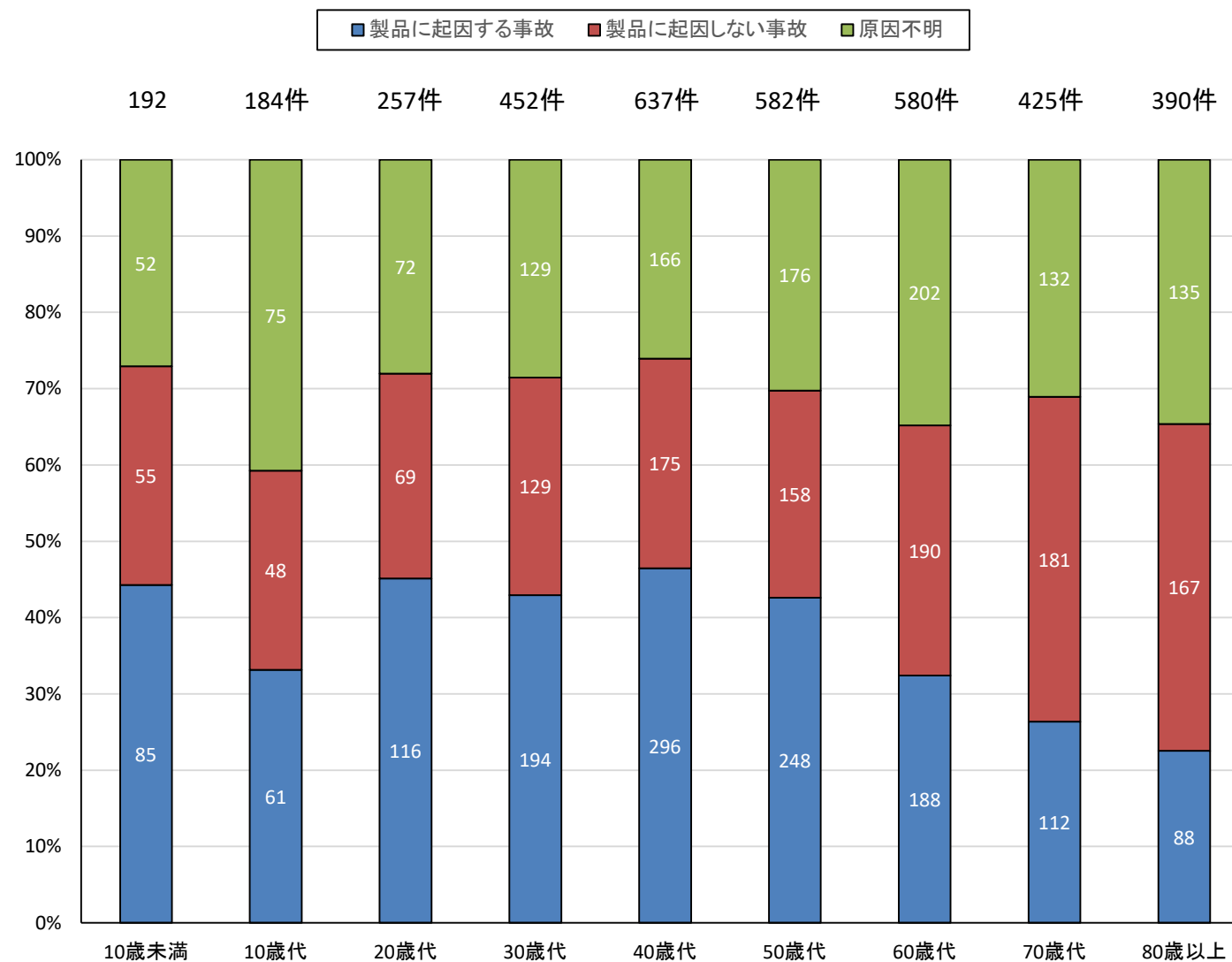
使用期間による世代別事故発生件数(2014～2018年度)



- 使用期間20年未満での製品事故件数は、年齢にかかわらず、人口100万人あたり18.6件から22.7件と大きな差はない。
- 使用期間が20年以上と長い製品での事故件数は、世代毎に見ると、1.1件から4.1件と高齢者になるほど、件数が増加し、4倍の差が出ている。
- 経年劣化による事故は、高齢者ほどリスクが高くなるといえる。

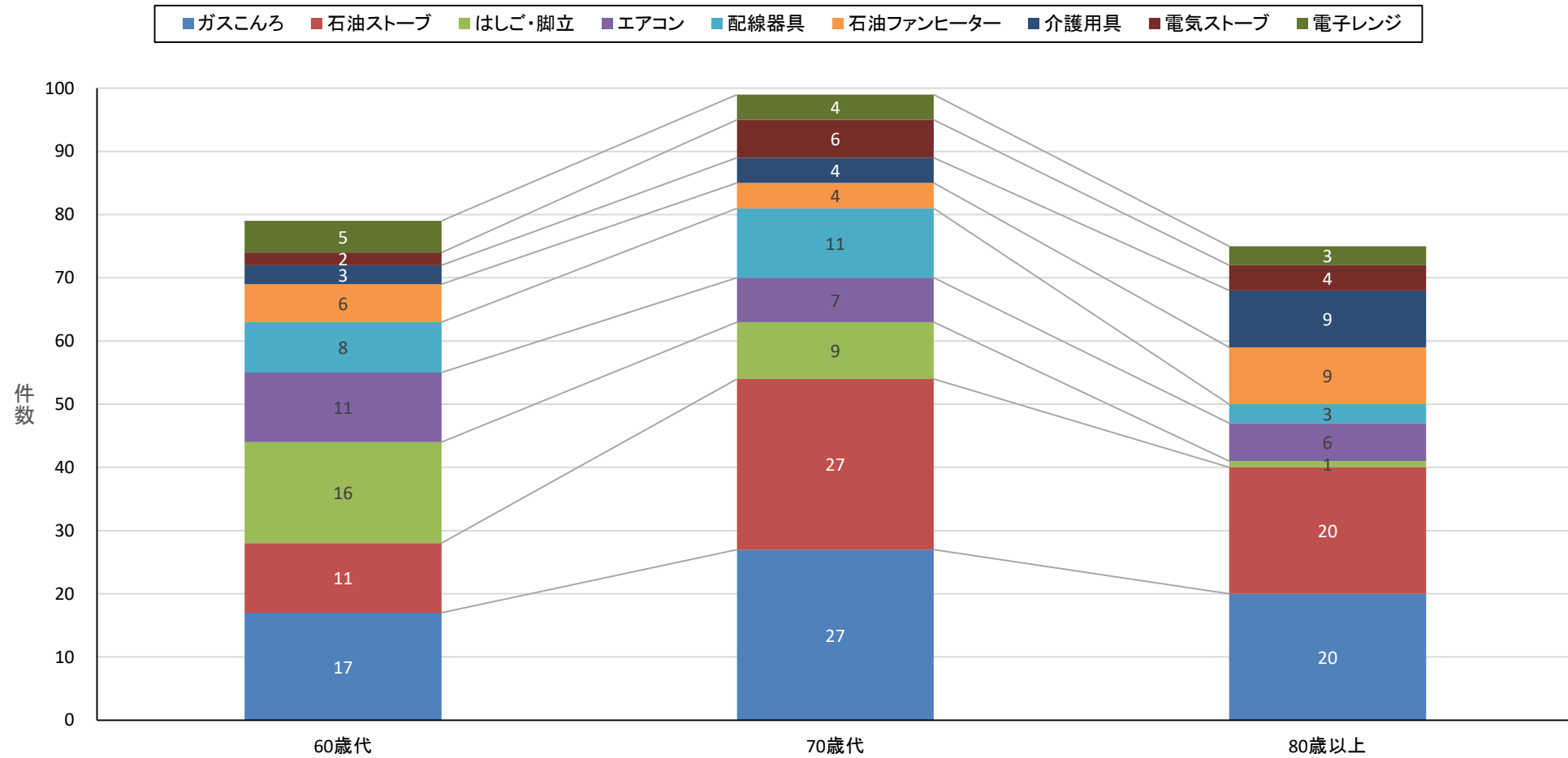
注) 重複情報等を除いた件数。使用期間及び被害者の年齢が判明したものを集計。

年代別原因区分別事故件数（2014～2018年度）



注) 重複情報、調査中等を除き、被害者の年齢が判明したものを集計。

60歳以上の製品に起因しない事故（上位10製品）



注) 重複情報、調査中等を除き、被害者の年齢が判明したものを集計。

高齢者の事故の傾向

高齢者の事故の傾向

- 死亡事故の割合は年々増加している
- 死亡事故や火災事故など重篤な事故の割合が高い
- 不注意・誤使用での事故の割合が高い
- 長期間使用している製品での事故の割合が高い

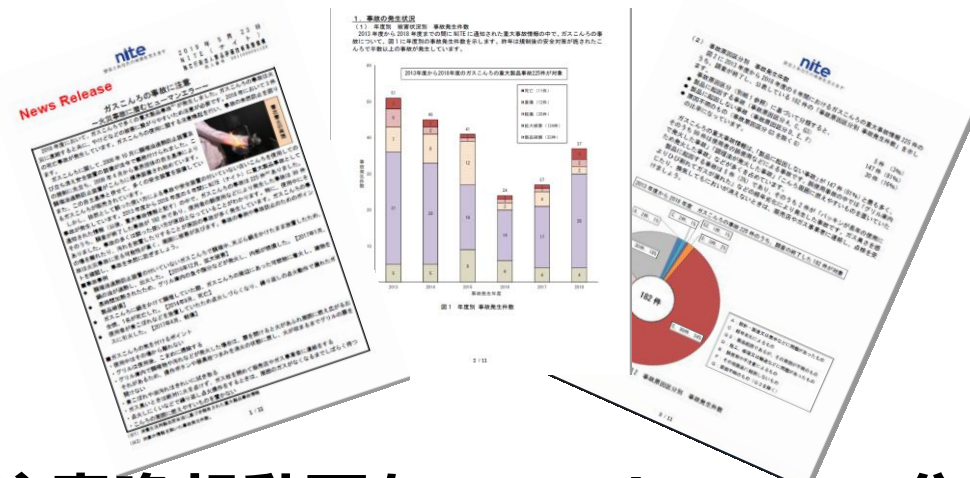
これらの傾向から

- 判断力・注意力の低下が誤使用・不注意の事故につながり、身体能力の低下から重篤な被害につながりやすい。
- 長期間使用している製品の割合が高く、経年劣化による事故のリスクが高くなると懸念。
- 人口比をみると高齢者の割合が増加しており、今後も高齢者の事故は増加傾向が続くと想定。

4. 消費者への事故防止のための取り組み

事故防止のための広報活動

- 毎月、記者説明会を行い事故防止のための注意喚起資料を公表しています。



nite プレスリリース

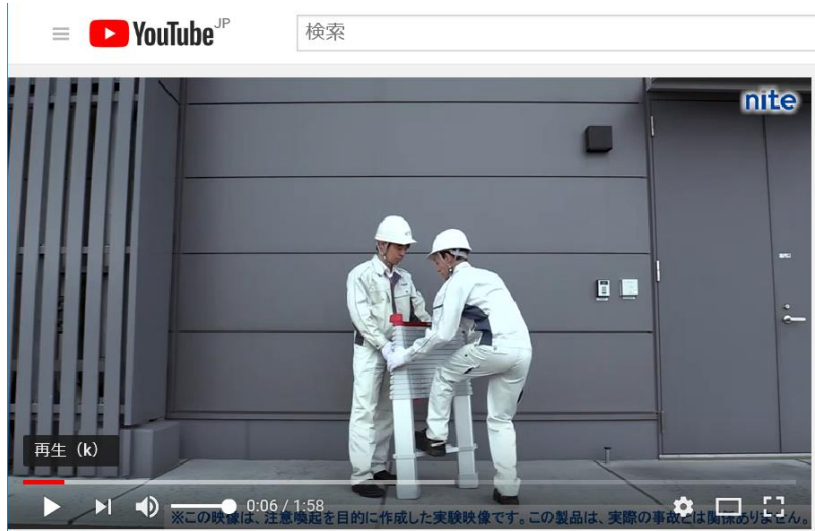
検索



URL :

<https://www.nite.go.jp/jiko/chuikanki/press/index.html>

- 注意喚起動画をYouTube NITE公式チャンネルに公開しています。(動画本数 : 191本)



nite 事故防止動画

検索



URL :

https://www.youtube.com/c/nite_JAPAN

ご利用にあたっては、ps@nite.go.jpへお問い合わせください。

事故防止のための広報活動

- NITEが平成8年度から収集した事故情報を検索できます。(データ件数：約5万件)

The screenshot shows the NITE website's search interface for accident information. It includes a search bar with fields for keywords, search items, and selection criteria. There are also buttons for '検索する' (Search) and 'クリアする' (Clear).



nite 事故情報

検索



URL :

<https://www.nite.go.jp/jiko/jiko-db/accident/search/>

- ツイッターでも注意喚起情報を発信しています。



nite ツイッター

検索



URL :

https://twitter.com/NITE_JP

顧客接点を広げるために

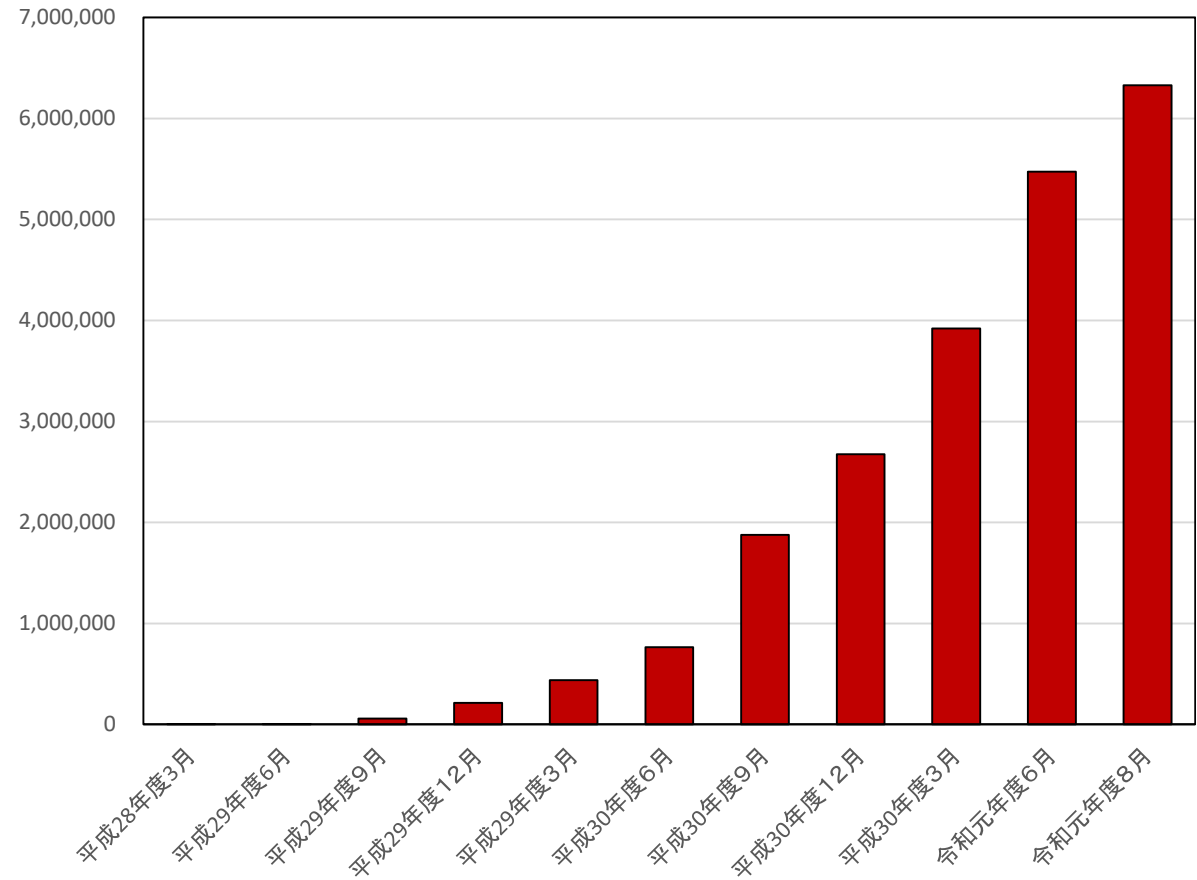
- 製品事故を未然に防止するためには、製品安全情報を消費者ひとりひとりに直接伝えることが重要
- NITEによる取組（TV報道、新聞、web配信、SNS、メルマガ、講演）だけでは限界があり、現在においても、重篤な誤使用事故やリコール未回収品による事故は発生しています。
- NITE製品安全情報が多くの消費者へ直接届くような取組にご協力ください。



TV報道・新聞・web
SNS・メルマガ・
講演
だけでは限界か

事故を防止するには、
消費者ひとりひとりに。

あんしんメール（アマゾンジャパン）によるYouTube視聴回数の変化



(参考) 製品区分と品目例

製品区分	品目代表例
01.家庭用電気製品	エアコン、テレビ、洗濯機、ACアダプター、配線器具(延長コード・コンセント・プラグ等)、パソコン、電子レンジ、IH調理器、冷蔵庫、扇風機、電気ストーブ、電気ファンヒーター、アイロン、温水洗浄便座、電気炊飯器、携帯電話機、モバイルバッテリーなど
02.台所・食卓用品	食器、容器、なべ(圧力なべを含む)、フライパン、包丁、冷水筒、まほうびん、ポット、電子レンジ用調理器、びん・缶など
03.燃焼器具	ガス・石油・まきストーブ、ガス・石油こんろ、カセットこんろ、ガスボンベ、ガス栓、ガスホース、迅速継手、ガス・石油・まきふろがま、ガス給湯器、石油給湯機、ガス・石油ファンヒーターなど
04.家具・住宅用品	いす、家具(テーブル、食器棚等)、ベッド、テレビ台、はしご・脚立・踏み台、草刈機(電動のものを除く)、扉・シャッター、ハンガー、除雪機、手すり、浴槽、システムキッチン、太陽熱温水器、塗料など
05.乗物・乗物用品	自転車(電動アシスト車を含む)、車いす(電動車いすを含む)、自転車用空気入れ、自転車用幼児座席、歩行器、自転車用ヘルメット、三輪自転車など
06.身のまわり品	デスクマット、電池、ゆたんぽ、履物、アクセサリ、芳香用ろうそく、ライター、爪切り、懐中電灯、イヤホン、カイロ、傘など
07.保健衛生用品	柔軟剤、耳かき、歯ブラシ、眼鏡、蚊取り線香、ビューラー、マスク、かみそりなど
08.レジャー用品	玩具、花火、靴、運動器具、楽器、潜水具、カメラ・デジタルカメラ、スキー用品、ウェットスーツなど
09.乳幼児用品	乳母車、ベビーカー、ほ乳びん、幼児用三輪車、ベビーベッド、幼児用玩具、子守帯、幼児用歩行器、ふろ用浮き輪、乳幼児用衣類など
10.繊維製品	衣類(下着を含む)、カーペット、寝具、タオルなど
11.その他	上記製品区分に該当しないもの

事故 **ナイト** いいね

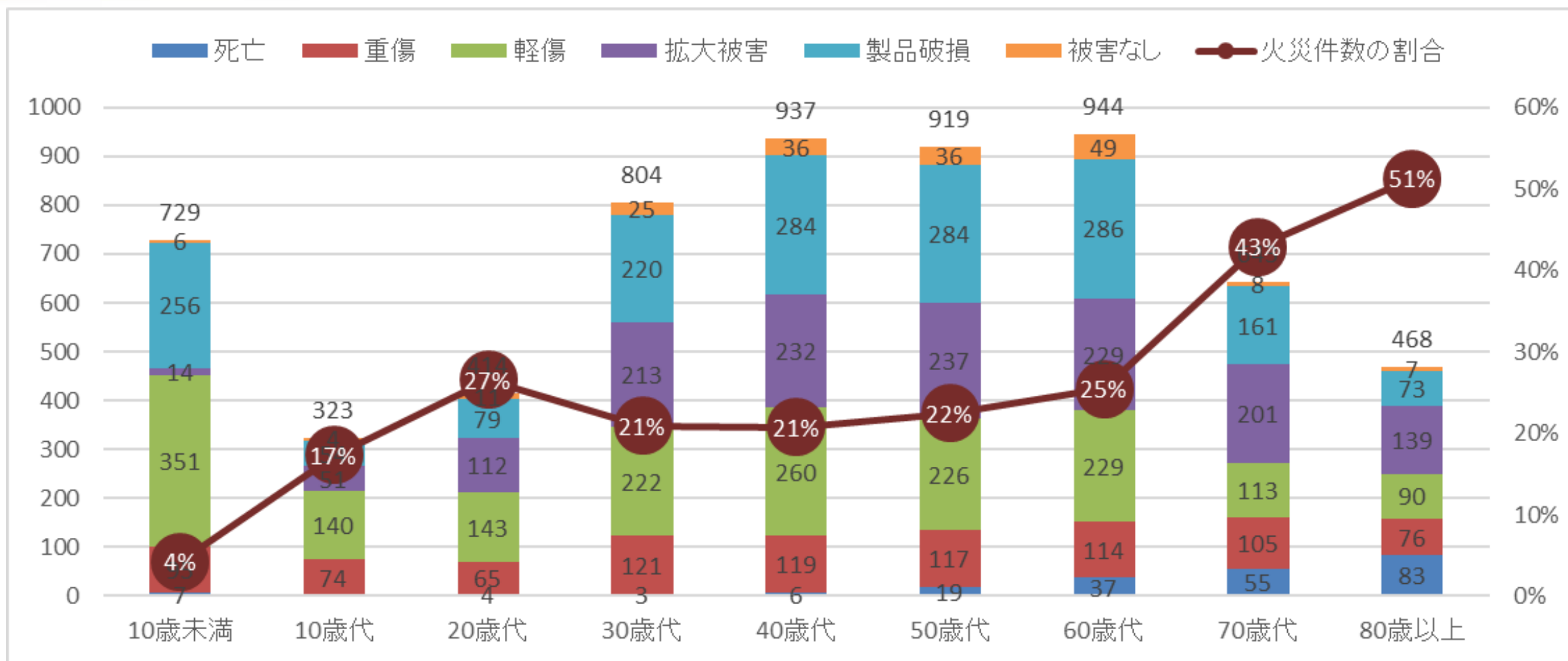
ご清聴ありがとうございました

<https://www.nite.go.jp/jiko/>

安全とあなたの未来を支えます

nite National Institute of Technology and Evaluation
独立行政法人 製品評価技術基盤機構

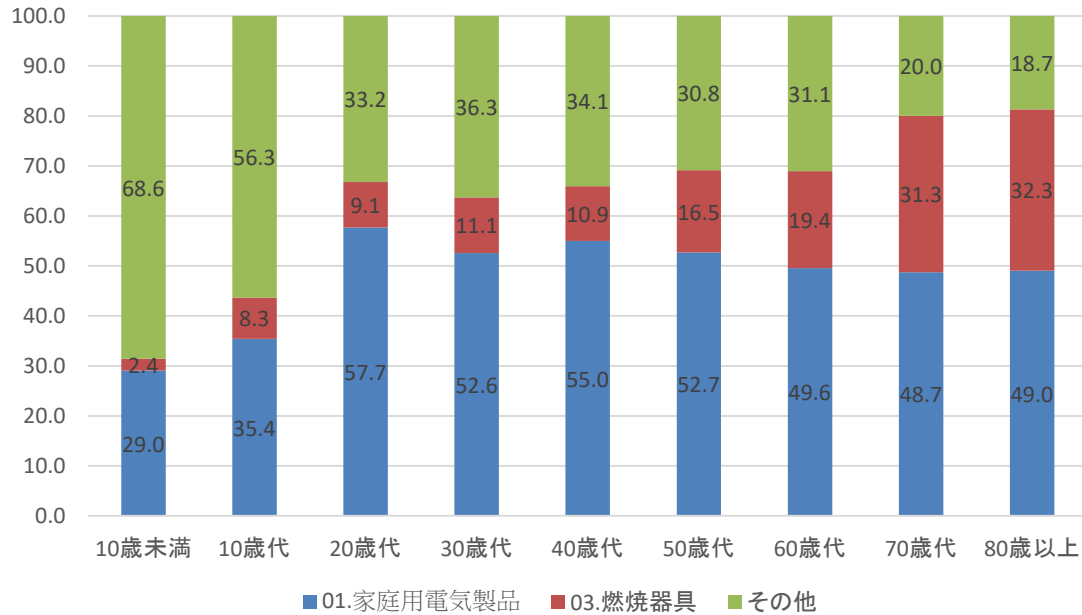
(参考)年代別被害状況別製品事故収集件数 (2009~2013年度)



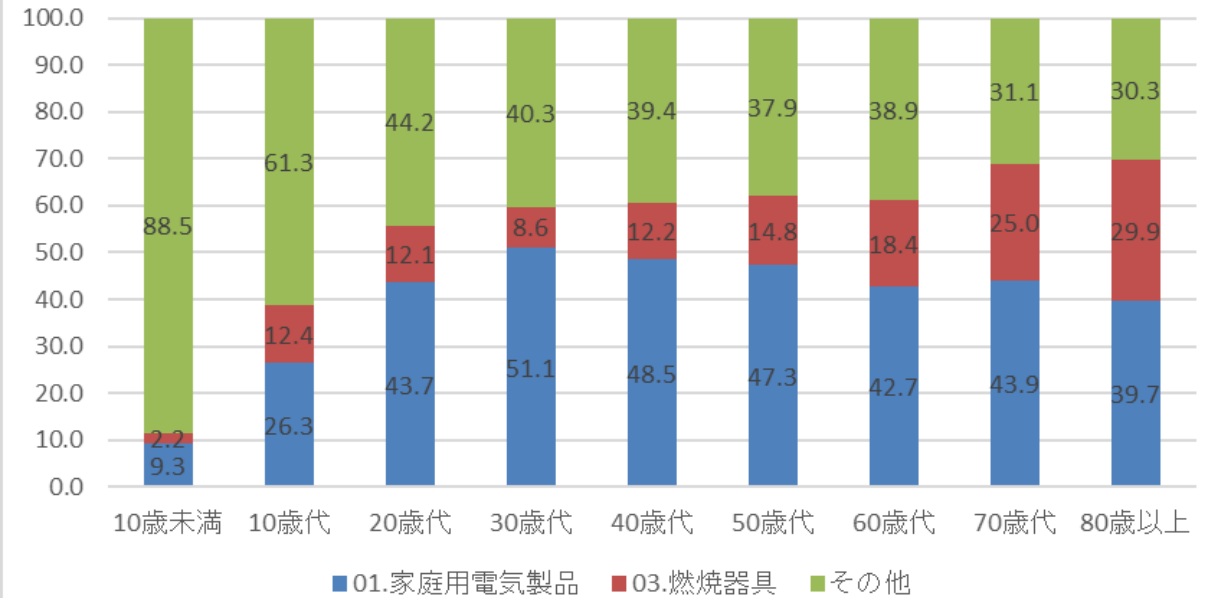
注) 重複情報等を除いた件数。被害者の年齢が判明したものを集計。

(参考)年代別製品区分別製品事故収集件数 (2014~2018年度と2009~2013年度)

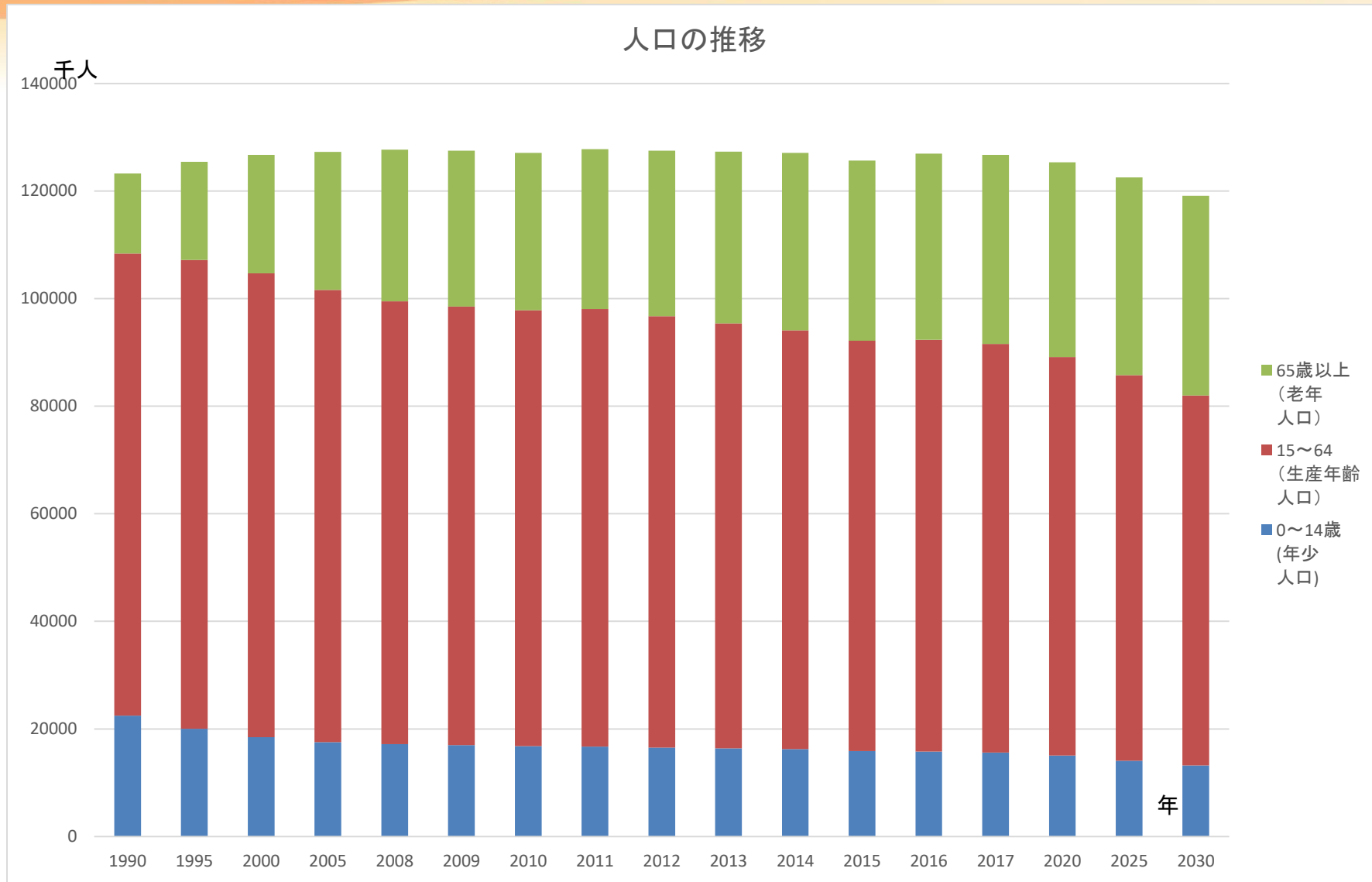
2014-2018年度製品区分別年代別割合



2009-2013年度製品区分別年代別割合



(参考)人口の推移 (1990~2030年度)



出典：総務省統計局ホームページ

第2章人口・世帯2-1 人口の推移と将来人口のデータを加工